

報告日 令和7年9月26日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|--------|------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 亀岡市役所 | | | 代表者名 | 桂川 孝裕 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 政策企画部情報政策課 | 連絡先電話番号 | 0771-55-9454 |
| 担当者役職 | 係長 | 担当者氏名 | 中川 智嗣 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | |
|-------|---------|
| 団体名 | 連絡先部署 |
| 担当者氏名 | 連絡先電話番号 |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | | | | |
|----------|---|-----|------------------|--|--|--|--|--|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名 | 自治体DXの（DX人材育成）推進 | | | | | |
| 概要 | 自治体DX推進の中核を担う課長級職員を対象としたDX研修を実施し、DX推進に必要なマインドや知識を修得させることで人材育成を図る。この研修の企画及びプログラム内容に助言をいただきたい。加えて研修講師をお願いしたい。 | | | | | | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） | | | | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|-------------|---------------|--------------|---------|--------------|----------|
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年9月22日 | 事前打合せ(オンライン) | 9時00分 | 10時30分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 90 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | オンライン | | 最寄駅 | オンライン |
| | 所在地 | オンライン | | 最寄駅からの交通手段 | オンライン |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|--|
| アドバイザー | 由比 良雄 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に） | 本市の現状について、丁寧にヒアリングをいただきました。その中で豊富な知見をもとに、こちらが目的とする内容をヒアリング内で整理いただきました。また、ヒアリングの中で研修内容以外にも本市の情報化推進施策の実施や広報の方法に、他団体での実績を踏まえたアドバイスをいただき、今後の事業推進のヒントにすることことができました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | データや体験に基づく内容が大変参考になりました。また、本市の現状に基づいてもアドバイスをいただきましたので、研修においては参加者とコミュニケーションをとっていただき、由比様の情熱を参加者に共有いただけたらと思います。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | | | 合計人数 | 3人 | | |
|--|--|-------|----|------|----|--|--|
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | | | | |
| | | 人数 | 3 | | | | |
| 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | 令和3年度からDX推進に取り組み、DX推進員を中心に研修などを実施してきましたが、令和7年3月に実施した職員意識調査では、デジタルに苦手意識を持つ職員が大半となっています。特に事業推進の中軸となる課長級職員に苦手意識を持つ職員が多く、先例重視、紙至上主義といったDX推進の弊害となっています。 | | | | | | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 課長級職員を対象にDX研修を実施いただき、DXの必要性を認識し、自分ごととしてDXに取り組める組織内職員を増加させること。（デジタルツールを活用した業務改善や新たなサービス提供が自発的に行われる数が増加すること） | | | | | | |

| | |
|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | <ul style="list-style-type: none"> 本市の現状に関するヒアリング 本市のDX推進に関する課題への意見交換及びアドバイス 11月21日開催のDX研修の構成及び内容調整 |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | これまで取り組んできた内容を踏まえて、本市のDXの強いところ、弱いところを明確に認識することができました。その中で、実施事業の改善点や課題を指摘いただき今後の実施方針を定めるための参考情報を提供いただきました。また、研修の資料についても、本市の状況及び要望を踏まえて、身近な事例や公務員あるある事例を交えて組立を検討いたしました。今回受講対象の課長級職員にもわかりやすく自分ごととしてDXを身近に感じてもらえる内容にできるのではと感じています。 |
| 具体的な成果物 | <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>本市の現状や課題について、ヒアリングを行いながら課題解決に向けたアドバイスをしていただきました。また、第2回支援の研修内容について、要望を踏まえた組み立てをしていただきました。</p> |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | DX研修の実施、実施後の振り返りと今後の展開方法についての相談（本市の人材育成計画においては、次年度以降も別の研修を計画しているため） |
| アンケートの内容と分析結果 | <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても構構です。）</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回は事前協議のため、アンケートなどは実施していません。</p> |
| 4-3. 今後の計画 | <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>本市デジタル人材育成計画に基づいて、デジタル人材の増加を目指して研修などを実施していきます。</p> |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 組織内のデジタルに苦手意識を持つ職員の比率が下がっていること。 デジタルを活用したサービスが増加し、市民の行政手続きに関する利便性が増加していること。 |

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

